

### 第3回先進的研究開発戦略センター戦略推進会合 議事概要

○開催日時 令和4年10月6日(木) 10時00分～12時00分

○場 所 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 役員会議室

○出席者

先進的研究開発戦略センター長 濱口 道成

先進的研究開発戦略センター プロボスト 古賀 淳一

先進的研究開発戦略センターフェロー 脇田 隆宇 (国立感染症研究所 所長)

内閣府健康・医療戦略推進事務局長 西辻 浩

内閣府健康・医療戦略推進事務局次長 長野 裕子

文部科学省 審議官 (研究振興局及び高等教育政策連携担当) 木村 直人

厚生労働省 医薬産業振興・医療情報審議官 城 克文

経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課長 下田 裕和

東京大学医科学研究所 特任教授 河岡 義裕

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長 三島 良直

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部長 野田 浩絵

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部 研究総括役 田中 大平

#### ■議 事

1. 開催要領の一部改正について
2. 各省及びSCARDAからの情報共有
3. フラッグシップ拠点の運営について
4. ワクチン・新規モダリティ研究開発事業 (新規モダリティを用いる感染症ワクチンの研究開発) の選考について

※議事4. においてフラッグシップ拠点関係者、国立感染症研究所の傍聴者は退席

#### ■概 要 :

##### 【議事1について】

○開催要領の改正案について、案のとおり合意された。

##### 【議事2について】

○各省及びSCARDAから、それぞれの取組や現状などについて説明があった。

##### 【議事3について】

○フラッグシップ拠点の運営について河岡フラッグシップ拠点長からの説明の後、意見交換を行った。意見交換において、出席者から、トップレベル拠点と、ワクチン・新規モダリティ研究開発事業の支援ユニットや他の関連機関との連携のほか、各省庁との連携の重要性、また、各種連携を行う上でSCARDAの役割の重要性が指摘された。

**【議題4について】**

○ワクチン・新規モダリティ研究開発事業のうち、新規モダリティを用いる感染症ワクチンの研究開発について、SCARDAから、今般の採択課題（案）の報告を行うとともに、「SCARDA のワクチン研究開発の推進方針」の改訂案について説明があった。

○「SCARDA のワクチン研究開発の推進方針」の改訂案について、出席者から、文書の位置づけが明確になるよう記載すべきとの指摘があり、文書の修正を行うことになった。

以上